いとしま きっと ニュース



Itoshima Hot News for Kyushu University No.51 July 2024

「いとしま免疫村」健康づくりワークショプ "講義と味噌づくりを通して学ぶ発酵食品と免疫力の関係"を開催



健康的なライフスタイルへの行動変容につなげていくために、免疫・健康分野の共創拠点づくりを目指し、産学官でさまざまな活動に取り組む「いとしま免疫村」。その一環として、6月16日(日)に糸島市健康福祉センター「ふれあい」で健康づくりワークショップを開催しました。

この日は、市民など約40人が参加し、九州大学大学院農学研究院中山二郎教授による講義「腸内フローラと発酵食品と免疫力アップ」、マルセン食品(糸島市志摩井田原)樗木社長による「味噌づくりワークショップ」、糸島市健康づくり課による「食と生活のアドバイス」を実施しました。

参加者からは、「腸内環境の重要性をあたらめて感じた。 自身の食生活を見直さなければと思う」「初めての体験で楽しかった。9月の出来上がりが楽しみ」などの感想がありました。 作った味噌は次回のイベントで参加者に配布する予定です。



▲農学研究院 中山教授による講義









新たに学生向け研究補助金を創設

令和6年度 糸島市との課題解決型研究 研究者が決定

市では、連携協定を締結する九州大学等の知見を活かして、行政や地域の課題を解決する取り組みを進めています。今年度は、従来の教員研究者への委託研究に加えて、学生向け研究補助金を創設し、九州大学からは学生2名が研究を行います。

各研究者は、市や地域関係者と連携しながら研究を進めていきます。 詳細はコチラ

教員研究者 7件		(敬称略)
研究テーマ	所属/役職/氏名	研究概要
へい死カキ殻・焼きカキ殻の有効利用に関す る研究	九州大学大学院 工学研究院 准教授 三木 一	課題とされている牡蠣設(焼き牡蠣殼及びへい死牡蠣)の再利用に挑戦する研究。ドラム回転機を利用した簡便かつ低コストの方法で殼表面の付着物を除去し、高度利用法が確立されている洗浄済みの殼を得る。また、洗浄済みの殼のより高度な利用方法を検証するとともに、付着物の肥料化、細かくなりすぎた殼の飼料化を試み、牡蠣産業の廃棄物の低減を目指す。
加布里湾と雷山川流域の地域循環共生圏の創出に向けた栄養塩の現状解析	九州大学大学院 農学研究院 助教 田畑 俊範	水産資源量の低下が懸念されている加布里湾について、栄養塩と雷山川流域 からの負荷量の経年変化について解析する研究。水産資源が豊富であった平 成3年頃と比較した湾内の栄養塩、雷山川流域内の公共用水域調査地点の水 質、土地利用形態から流入する栄養塩量の経年変化を明らかにし、変化の過 程と要因を考察する。
雨水教育を利用した流域治水リテラシーの向 上効果について	九州大学大学院 工学研究院 准教授 林 博徳	都市部の浸水・流出抑制対策として有効な「流域治水」の実装に向けて市民や市職員の理解を深めるための研究。市民や市職員を対象に出前講座を実施し、流域治水の概念、雨庭のビジュアル、効果、手軽さを伝え、どのような情報が有効であったかを分析する。市民の流域治水に対する理解度や興味関心の実態、啓発に効果的な情報と手法の提案等を行う。
糸島市文化芸術振興計画(仮称)に関する基 礎調査	九州大学大学院 芸術工学研究院 准教授 長津 結一郎	糸島市文化芸術振興計画(仮称)策定に向けて、文化芸術活動の現状と課題を幅広く把握し、本市における文化行政の方向性を示す研究。市民や学生、文化関係団体など幅広い対象へのアンケート調査、市が把握していない文化芸術活動の網羅的な把握を目的とした市民参加型のワークショップ、近隣自治体の計画との比較分析等を行う。
新町弥生人の形質・文化・復顔に関する研究	九州大学大学院 比較社会文化研究院 准教授 舟橋 京子	令和4年度からの継続研究。令和5年度に採取した人骨に刺さった石鏃(せきぞく・矢じり)と一体と考えられる石鏃を3Dデータ化し、それぞれのレプリカの作成等を行う。加えて、新町遺跡出土人骨の四肢骨に関する分析を行い、これらの成果を九州大学のギャラリーにおいて、完成を目指す出土人骨の「復顔」の粘土塑像(粘土で作った像)とともに展示し、新町支石墓群のシンボルとして遺跡のPRを行う。
消防団員の活動を支援するソフトウェアの開 発に関する実証研究とその影響評価	九州大学大学院 システム情報科学研究院 教授 荒川 豊	糸島市消防団が抱える課題(団員情報の管理、災害情報の共有など)に対して、WEB及びスマートフォンのアプリケーションを開発し、消防団活動の効率化を図る研究。本研究の基盤となるアプリケーションに対して、追加開発(出力機能、クーポン検索機能、デザイン変更)やリリース準備を行う。開発後は消防団員へ利用提供し、業務効率化の効果を検証する。
畜産排水由来の濃縮バイオ液肥生産と機能性 評価のFS調査	九州大学大学院 農学研究院 教授 矢部 光保	濃縮バイオ液肥原料として畜産排水が使用可能であるかを調査した上で、使用可能であれば、これまで研究者が開発してきた、メタン発酵消化液を利用した濃縮バイオ液肥製造技術を応用し、より低コストで付加価値の高い濃縮パイオ液肥の生産を目指す。また、糸島農業高校協力のもと、製造した液肥を使用し栽培試験なども行う予定。
学生研究者 2件		
誰でも簡単に磯焼け対策が出来るウニトラップの研究開発	九州大学 農学部 2年 眞継 竜太朗	磯焼けの原因とされるウニの捕獲に関する研究。ウニの生態学、行動学的な 観点から基礎研究を行い、誰でも簡単に使用できるトラップを研究開発す る。野北漁港をはじめ、糸島市の漁協と連携し糸島市周辺の海域でトラップ の実証実験を行う。
糸島市の廃菌床を用いた生ごみの建築材料化 と食品ロス処理コストの削減	九州大学 工学部 4年 齋藤 巧	糸島市内で排出されている廃菌床を活用した菌糸による新たな建設材料を開発する研究。菌糸の生ごみを分解する能力に着目し、建築廃材によるエネルギー消費問題の解決に加え、食品廃棄物の処理コスト削減につなげる。実験で得た結果を元に菌糸を用いたインテリアを設計し製作する。





九州大学の教授らを講師に招いた"糸島らしい"企業研修

糸島新事業創造育成人材研修を開催

市では、「糸島市九州大学国際村構想」と「糸島サイエンス・ヴィレッジ構想」の担い 手となる人材の育成に取り組んでいます。その取り組みの一環で、九州大学の先生方を講 師に招き、新たな価値やビジョンを創造しビジネスに生かす思考法を学ぶ社会人向け研修 を、糸島市泊のグローカルホテル糸島を拠点に5月27日(月)から29日(水)の2泊3日で 行いました。

民間企業の若手社員や市職員に加え、九大生もインターンとして参加し、和やかな雰囲 気の中で普段接する機会の少ない分野の人たちから刺激を受ける交流研修となりました。

	未来デザイン統括本部 岡田教授による講義
	主な研修内容
1日目	・工学研究院 片山佳樹教授による講義「いとしま免疫村」
	懇親会など
2日目	・ 基幹教育院 岸本裕歩准教授による講義「運動に伴う感情の変化」
	・未来デザイン統括本部 岡田栄造教授による講義「社会デザイン思考」と
	事業創造ワークショップ
	・ヨガレッスン、「ふーど工房しまうま」による昼食の提供など
3日目	・ワークショップの発表と講評(講評者:片山教授、岡田教授ら)
	・糸島魅力体験ツアー(伊都キャンパス、ラボ見学など)



この事業は、人事交流で九州大学から糸島市(学研都市づくり課)に出向中の長澤花蓮が主体となって、取り組んでいます。

九大生が飲酒運転撲滅を宣言

「九大国際村」交差点に飲酒運転撲滅を願うモニュメントが完成

糸島市泊「九大国際村」交差点に、飲酒運転撲滅を願うモニュメントが設置され、6 月22日(土)に建立記念式典があり、九大フィルハーモニー・オーケストラによる演奏や 被害者遺族による講演会が行われました。





【宣言をする九大生

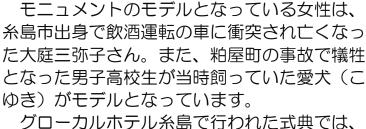
-輝さん 工学府2年

グローカル ホテル糸島 蒔温さん

伊都の湯どころ 伊都キャンパス→ モニュメント

糸島市の飲酒運転撲滅に関する情報はコチラ ※女性像のモデルの父である、

大庭茂彌さんの活動などを掲載しています。



車の免許証の取得や飲酒を開始する年代の代表 として九大生2人が飲酒運転撲滅を宣言。

飲酒運転撲滅は、万国共通の願いであり、 九大留学生が多く住む九大国際村から「飲酒 運転は絶対にしない、させない、許さない、 そして見逃さない」というメッセージを発信し ていきます。

ぜひ、モニュメントにお立ち寄りください。





前原地域で一番熱い日!

前原山笠・前原夏祭りが開催

7月25日(木)に糸島・前原の夏の風物詩「前原山笠」が開催されます。 前原地区9つの行政区の山車がオイサ ! オイサ ! の掛け声とともに、JR筑前前原 駅一帯を勇壮に駆け抜けます。山笠は、14時半に糸島警察署前をスタートします! 山笠が行われた夜、前原商店街周辺には、沢山の露店が立ち並び、多くの人で賑わ います。夏の思い出に、ご家族・ご友人と足を運んでみてはいかがでしょうか。



勢い水で担き手を応援!





・夜市で賑わう前原商店街(夜の夏祭りは、7月24日(水)、25日(木)の2日間開催)



|||||||||||||| 詳細はコチラ



~7月24日(水)は火伏地蔵祭を開催~

火伏地蔵は、1818年頃(文化7年頃)に前原宿が賑わっていた当時、宿場の中心を焼き尽くす大火 があり、そこで火伏地蔵を祀ったところ、その後大火が起こらなくなったそうです。

同日11時から祭典が開始され、13~21時まで、いつもは観ることができない五仏が公開されます。

糸島市では、九州大学教職員の皆様に糸島のファンになってもらうため、 HOTな話題と「**ほっ**」とするニュースを2カ月に1回 お届けしています。

糸島市 経済振興部 学研都市づくり課 大学連携推進係

〒819-1192 糸島市前原西一丁目1番1号 ☎092-332-2079 (直通)

http://www.city.itoshima.lg.jp(糸島市公式ホームページ)

https://www.facebook.com/city.itoshima.jp(糸島市公式Facebookページ)

